

イスラエル軍、予算危機で兵員縮小

2026年7月6日 パレスチナ・クロニクル編集部著、脇浜義明訳



ガザ地区で、パレスチナ抵抗勢力によるイスラエル兵への攻撃が行われた。(Photo: video grab)

主要な動き

イスラエル・メディアは、軍が7月末までに1万人の予備役兵を動員解除する計画であると報じた。これは、数百億シェケルと推定される予算不足のためである。野党のアヴィグドール・リーベルマン元国防相は、イスラエル軍の弾薬備蓄が10日以内に枯渇する恐れがあると警告した。

予備役削減計画

イスラエルの新聞『イスラエル・ハヨム』によれば、多方面で軍事行動で費用を使い、予算危機の悪化に直面、7月末までに約1万人の予備役兵を動員解除する準備を進めている。同紙は、現役予備役兵の数は約6万人から約5万人に減少すると報じている。この決定はまだ正式に承認されていないが、数日以内に最終決定されるという見込みである。同紙は、数百シェケルの予算不足は軍の作戦費用の増大のためだと報じている。

地域防衛体制縮小

イスラエル新聞『イエディオト・アハロノト』と『カルカリスト』は、削減されるのは主に「地域防衛」体制に配備されている予備役部隊だと報じている。「地域防衛」というのは、ガザ回廊付近や占領地西岸地区にある入植地防御に展開する兵員である。他にも、支出抑制に向けた取り組みとして、軍司令部の人員削減も含まれると報じている。

兵員削減計画は、軍事費をめぐって国防省と財務省の間の対立の中で発案された。報道によると、軍は複数の戦線での軍事行動を維持するために記録的な水準の予算増を求めているが、財務省は財政赤字をますます悪化させるとして反対してい

る。しかし、両者は、予備役への依存度を減らし、運用コスト削減の努力をするという条件で追加資金を拠出することで、暫定的な妥協に達したと報じられている。

リーベルマンの弾薬不足警告

削減計画報道を誘発したのは、アヴィグドール・リーベルマン元国防相の発言である。彼は7月3日に、財政危機が解決されなければイスラエル軍の弾薬備蓄が10日以内に枯渇すると警告した。彼の発言を誘発したのは、「チャンネル12」の軍が推定400億シェケル（135億ドル）の資金不足に陥っているという報道である。この資金不足で、戦車や装甲兵員輸送車の予備部品の調達が出来なくなり、複数の軍事作戦に支障をきたす恐れがあると報じた。

「チャンネル12」のキャスターが引用した軍関係者によれば、作戦上の必要があるにもかかわらず、資金不足のために、予備役兵の解雇や負傷兵や障害を負った兵を支援する計画を凍結しなければならない。当局者は、予算をめぐる対立が解消しなければ、財政危機で2～3週間以内に作戦遂行能力に影響が出て、複数の戦線で軍が作戦を維持できるかどうかの懸念が生じていると言った。